

# 嚥下障害の初期評価 | 水のみテスト

入院 → 経口摂取の開始を検討する基準

- 意識 JCSI桁
- 発熱 37.5℃以下
- 呼吸状態 安定
- 口腔内衛生が良好
- 空嚥下で嚥下反射惹起がある

## 嚥下障害推定のためのチェック項目

<input type="checkbox"/> 病前からペースト食・嚥下食を食べていた?	はい	いいえ
<input type="checkbox"/> 水分にとろみを付けていた?	はい	いいえ
<input type="checkbox"/> 食事のときにムセ・咳が出る?	はい	いいえ
<input type="checkbox"/> 唾液が飲めていない?	はい	いいえ
<input type="checkbox"/> 誤嚥性肺炎の既往がある?	はい	いいえ

すべて「いいえ」

### 改訂水のみテスト

水 3 ml  
10 ml

問題あり

問題なし

ムセなし  
呼吸変化なし

歯(義歯)の有無

なし

あり

### ■やわらか食

歯・口腔内の問題解決後  
食形態アップを検討。

### ■常食

主食: 飯、やわらか飯、全粥など  
常食レベルの食形態  
(Ca調整食、串刺し食)

1つでも「はい」があれば、

嚥下障害の疑いありと判断し、  
とろみ水テストでの嚥下評価を行う。

### とろみ水テスト

とろみ水 4ml

- 中間のとろみ水[水分150ml+とろみ剤3g (例: ソフティアS1包)を溶かす]を準備。
- シリンジで4mlを口腔底に入れ嚥下を促す。
- 姿勢はベッドアップ45度。

問題なし

ムセなし  
呼吸変化なし

問題あり

### ST 評価依頼

■服薬 水分とろみ付で開始

### ■訓練食3

主食: 粥ミキサー  
副食: ペースト、汁とろみで開始

## 水分とろみ解除の条件

改訂水のみテスト(3ml→10ml)を  
再評価し、ムセがない場合。

## 食形態アップの条件

- 食事開始後、以下の2項目を2日間クリア。
- ① 発熱がなく全身状態が安定している。
  - ② 30分以内で5割以上摂食可能。